PASSION FOR THE BEST

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2021年9月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）
執行役社長 CEO　中田　誠司

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2021年度第1四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2021年9月9日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

目 次

1. 大和証券グループの概要・・・・ 3

2. 新中期経営計画
”Passion for the Best“ 2023 概要・・・・ 9

3. 個別戦略・・・・ 13

4. 株主還元・・・・ 28

参考資料・・・・ 35

1. 大和証券グループの概要

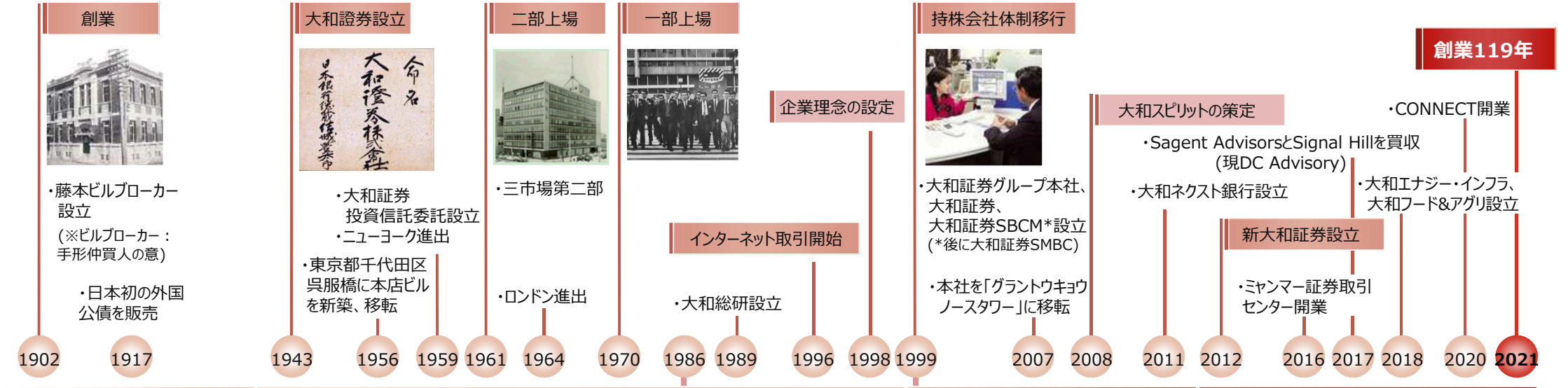
Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST

1902年の創業以来、**119年の歴史の中で培ったDNA**

＝ 時代の先を行く先進的な取組みにより、資本市場の発展に貢献

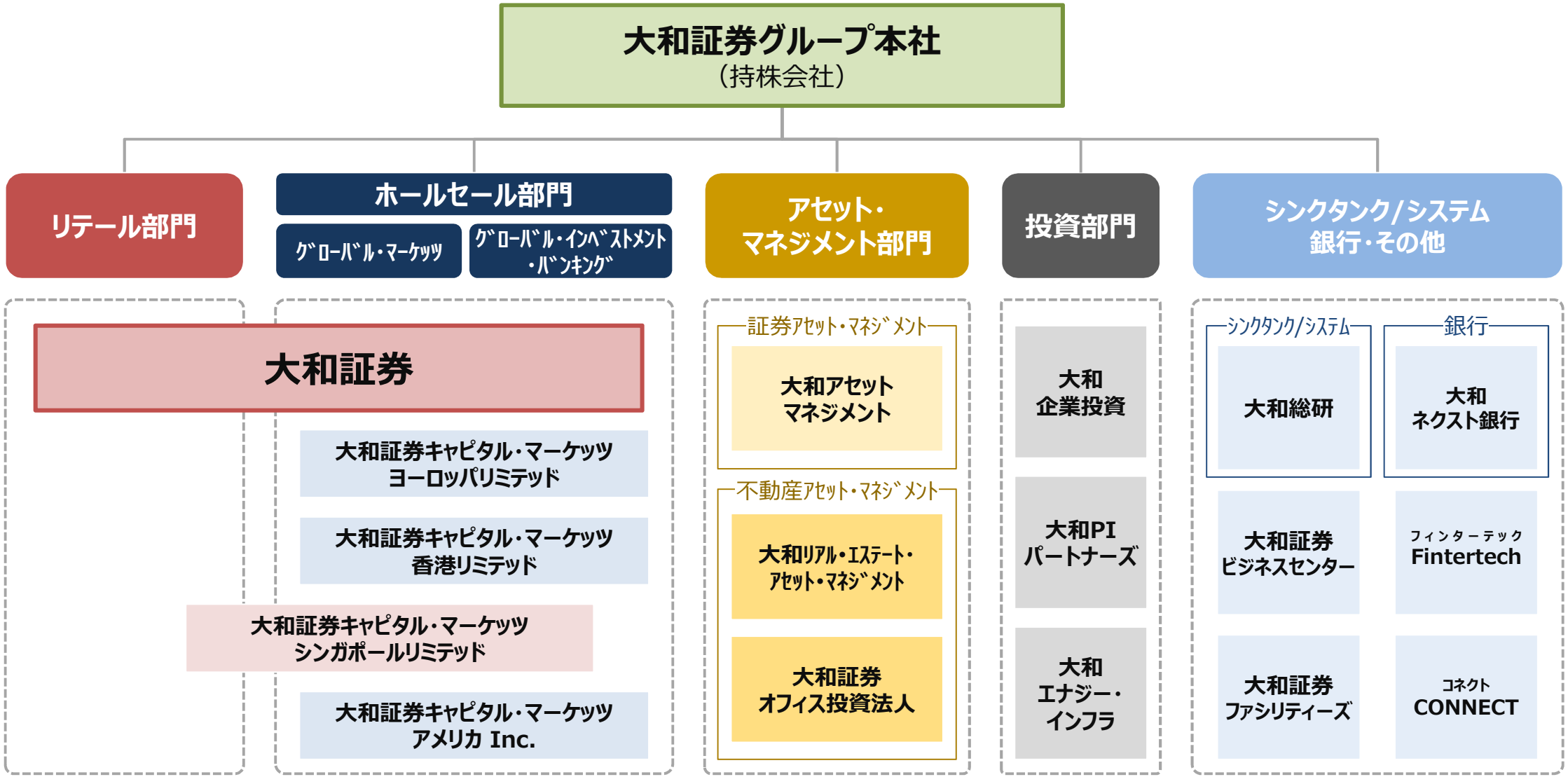


■ 1986年(昭和61年) **日本初のパソコンによるホームトレードサービス**を開始

■ 1999年(平成11年) **日本の上場会社初の持ち株会社**大和証券グループ本社を発足

主要会社構成

PASSION FOR THE BEST



数字で見る大和証券グループ

PASSION FOR THE BEST

国内店舗数

180店舗



預り資産（大和証券）

75.0兆円

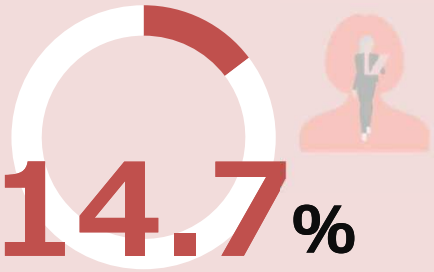
従業員数*1

15,671人

CFP認定者数 1,068名

業界No.1*2

女性管理職比率



14.7%

グローバル拠点所在地



世界24カ国・地域

就職ブランドランキング*3

総合順位 3位

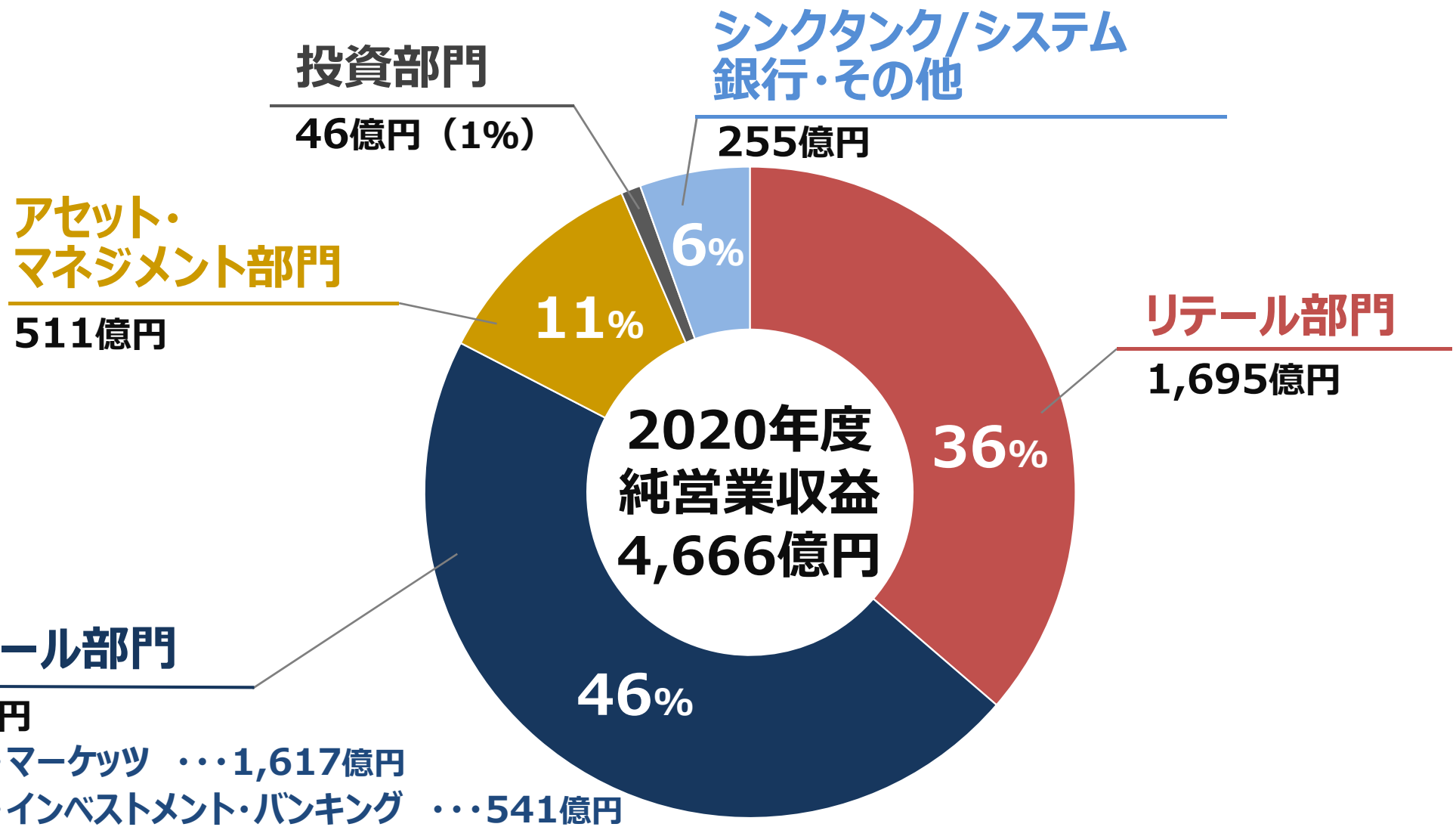


時価総額

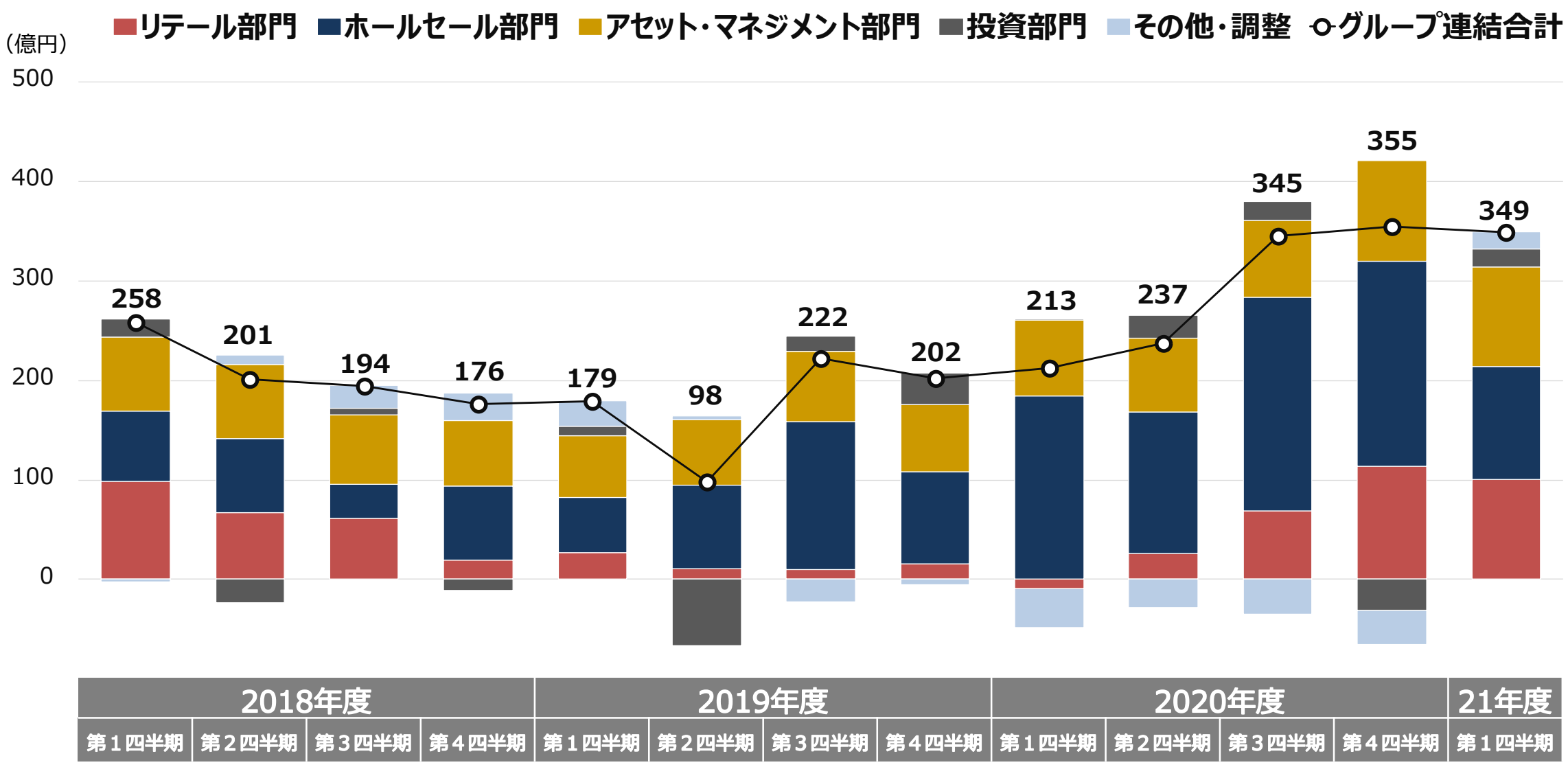
約1兆円

※ 2021年6月末時点　　*1 連結グループ会社の合計数値
*2 日本FP協会発表値に基づく（国内保険・金融業界における認定者数）　*3 文化放送キャリアパートナーズ就職情報研究所「就職ブランドランキング」2022年卒・前半

純営業収益の構成


投資部門
46億円（1%）
シンクタンク/システム
銀行・その他
255億円
アセット・
マネジメント部門
511億円
リテール部門
1,695億円
ホールセール部門
2,158億円
グローバル・マーケッツ　・・・1,617億円
グローバル・インベストメント・バンキング　・・・541億円
2020年度
純営業収益
4,666億円
1%
6%
11%
36%
46%

経常利益の推移


リテール部門
ホールセール部門
アセット・マネジメント部門
投資部門
その他・調整
グループ連結合計
(億円)
500
400
300
200
100
0
258
201
194
176
179
98
222
202
213
237
345
355
349
2018年度
2019年度
2020年度
21年度
第１四半期
第２四半期
第３四半期
第４四半期
第１四半期
第２四半期
第３四半期
第４四半期
第１四半期
第２四半期
第３四半期
第４四半期
第１四半期

2. 新中期経営計画 ”Passion for the Best“ 2023　概要

Daiwa Securities Group Inc.

変化する事業環境への対応

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症により変化が加速

事業環境の変化	
収益構造	✓低金利・低成長環境の継続 ✓テクノロジーの進展・競争激化による手数料の低下圧力
お客様ニーズ	✓長寿化への対応 ✓人々の行動・ニーズの多様化への対応
SDGs/ESG	✓社会課題の解決
規制・競争環境	✓国内市場の縮小 ✓異業種参入の可能性 ✓グローバル競争の激化
パンデミック	✓働き方・価値観の変化 ✓デジタル・トランスフォーメーションの進展 ✓経営基盤の強化 ✓社会貢献意識の高まり

当社グループの取組み

- 資産形成・保全サポート
- 新たな資金循環の確立
- 社会課題解決への貢献
- 経営基盤の強化
- デジタルシフトへの対応
- 人材育成・多様性

大和証券グループの重要課題

- 人生100年時代
- イノベーション
- グリーン&ソーシャル
- ダイバーシティ&インクルージョン
- サステナブル経営の基盤

スローガン・基本方針

2021-2023年度

新中期経営計画
“Passion for the Best” 2023

未来を共に創るベストパートナー
～Be with you～

基本方針

クライアントファーストと
クオリティNo.1の実現

ハイブリッド戦略による
新たな資金循環の確立

デジタルとリアルのベストミックスの追求

サステナビリティへの取組み

コーポレート戦略
財務・資本/リスクマネジメント/コンプライアンス/人事/海外

数値目標

数値目標および各数値目標に関連する重点分野（2023年度達成目標）

財務数値目標

業績	資産管理型ビジネス	ハイブリッド戦略	財務基盤
ROE 10%以上 **経常利益** 2,000億円以上	**リテール部門** **残高ベース収益比率** 50%以上*1	**ハイブリッド関連** **経常利益** 500億円以上 **ハイブリッド関連** **経常利益比率** 25%程度	**連結総自己資本** **規制比率** 18%以上維持

非財務数値目標

人材	資産管理型ビジネス	サステナビリティ	
デジタルIT人材 200名以上 **CFP/証券アナリスト** **資格取得者数** 3,000名以上	**大和証券預り資産** 90兆円以上	**女性取締役比率**	30%以上*2
		女性管理職比率	25%以上*3
		従業員満足度	80%以上維持
		SDGs関連ビジネス投資残高	1,500億円以上
		SDGs債リーグテーブル	3位以内
		応援定期預金残高	2,000億円以上

人生100年時代　イノベーション　グリーン＆ソーシャル　ダイバーシティ＆インクルージョン　サステナブル経営の基盤

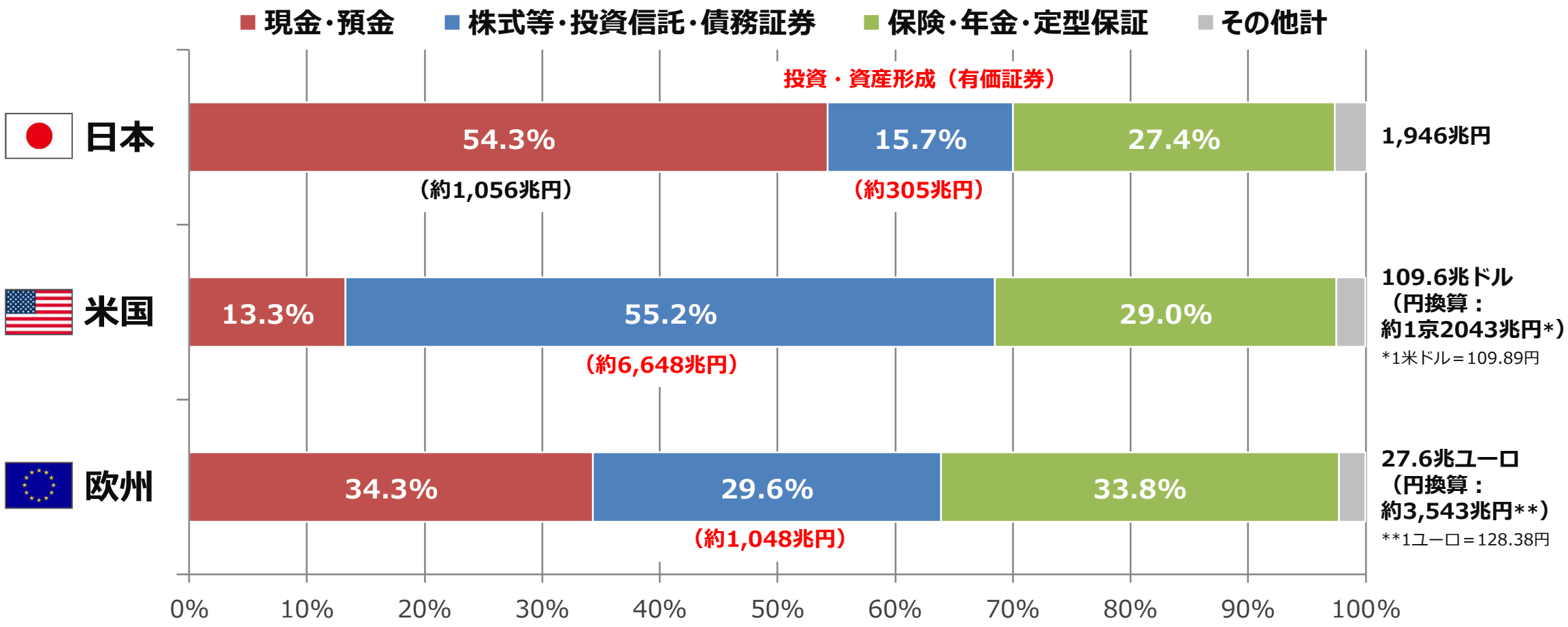
＊1　2023年度第4四半期　＊2　2030年までに　＊3　2025年度

3. 個別戦略
①クライアントファーストとクオリティNo.1の実現

Daiwa Securities Group Inc.

家計の金融資産の状況（日・米・欧）

個人金融資産の5割以上が未だに現預金として眠っている状況



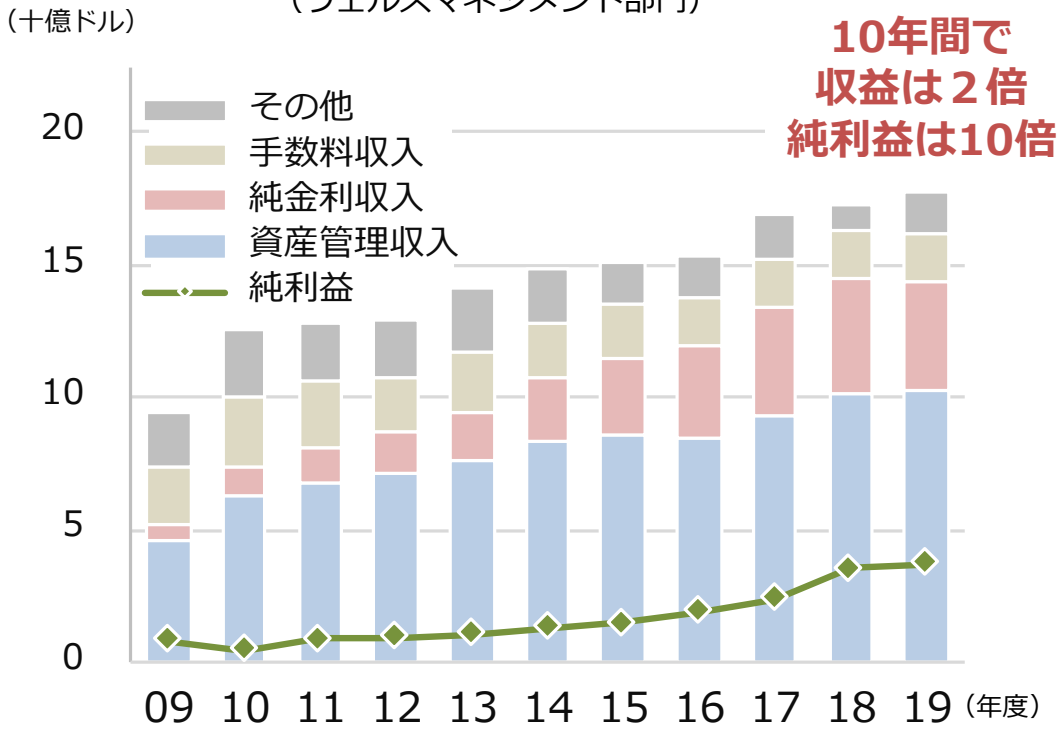
（出所）　日本銀行（2021年3月末時点）
※　「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「株式等」、「投資信託」、「債務証券」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差

米国証券会社の収益構成推移

営業員によるコンサルティングの提供を通じて得られる残高連動の収益が大きく拡大

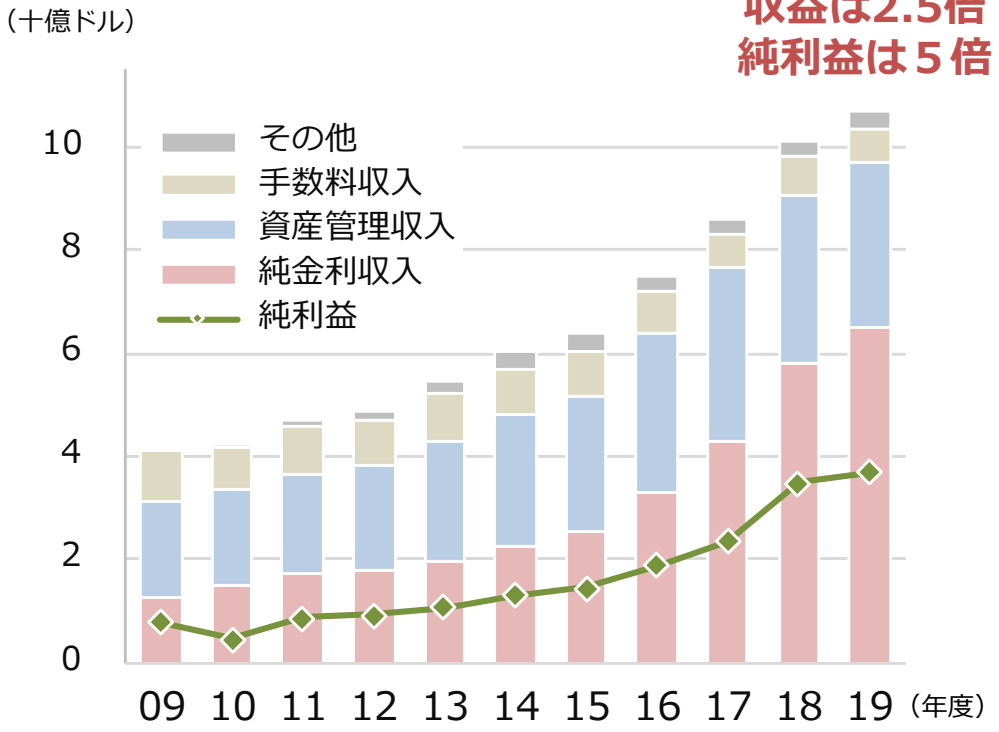
米国証券会社における収益構成推移

モルガン・スタンレー
（ウェルスマネジメント部門）



10年間で
収益は２倍
純利益は10倍

チャールズ・シュワブ

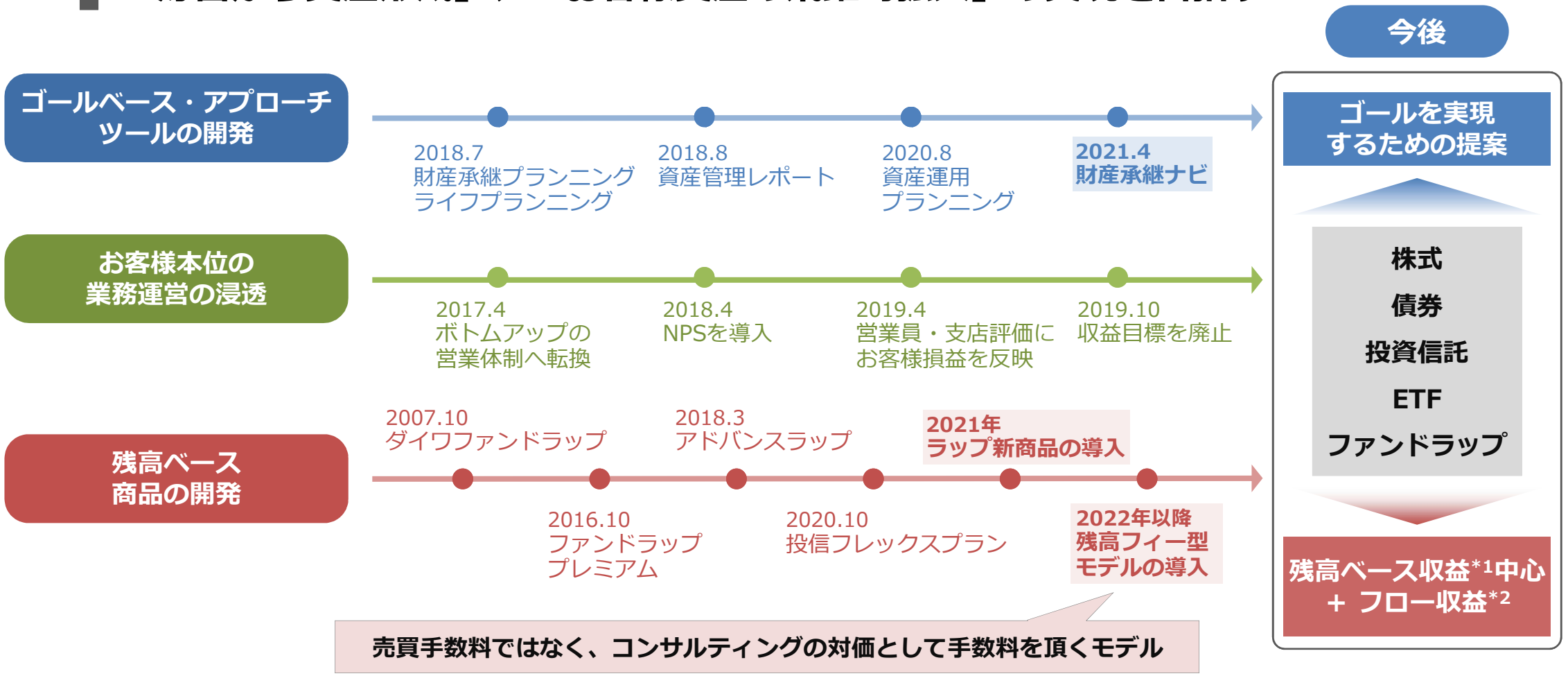


10年間で
収益は2.5倍
純利益は５倍

※　各社開示資料より大和証券グループ本社作成

ビジネスモデル転換に向けたこれまでの取組み

ビジネスモデルへの転換は、長期戦略に基づき過去から実施
「貯蓄から資産形成」、「お客様資産の飛躍的拡大」の実現を目指す



*1　残高ベース収益＝投信代理事務手数料、投資顧問料・取引等管理料、銀行代理店報酬、投信フレックスプラン残高手数料 など
*2　フロー収益＝エクイティ収益、債券収益、投信募集手数料 など

お客様の最善の利益追求に向けた取組み

PASSION FOR THE BEST

魅力的な商品ラインアップの強化、利便性の高いサービスプラットフォーム構築を推進

資産運用プランニング	資産の状況を見える化
大和版NPS®	お客様満足度の向上
店舗ネットワーク（180店舗*）	お客様の接点拡大による 利便性の向上
投信フレックスプラン	投資信託の「買い方」の選択肢拡充
CONNECTの設立	資産形成層向け金融サービス

注：NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標
* 2021年8月時点

新しいソリューションサービスの導入

包括的な資産運用コンサルティング実現のためのツールを導入
他社資産を含めた包括的な分析によりお客様満足度を追求

ダイワの
フューチャー・デザイナー
未来のカルテ

2020年
8月導入

資産運用プランニング

運用上の課題を見える化
ソリューションを提案

累計15兆円の金融資産を分析

ライフプランニング

お客様が希望する
夢の実現をサポート

財産承継プランニング

財産承継における問題点
および対策を提案



現状分析

資産の状況や運用上のリスク、
運用成果予測を最先端の金融
テクノロジーで見える化

運用戦略の策定

高度な分析エンジンで
お客様一人ひとりに
最適な運用戦略をご提案

運用成果の確認

ゴールに向けた進捗状況を
モニタリングし、最新の状況や
リスクを定期的にレビュー

投資の実行

投資戦略やニーズに
お応えするグローバルな
商品ラインアップ

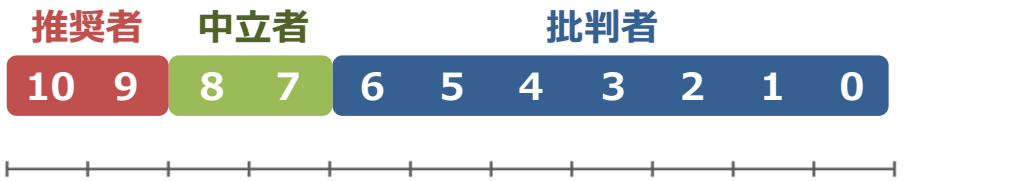
大和版NPSをベースとしたお客様第一の体制の定着

NPSオペレーションの定着により、NPSは上昇

NPS（ネット・プロモーター・スコア）とは

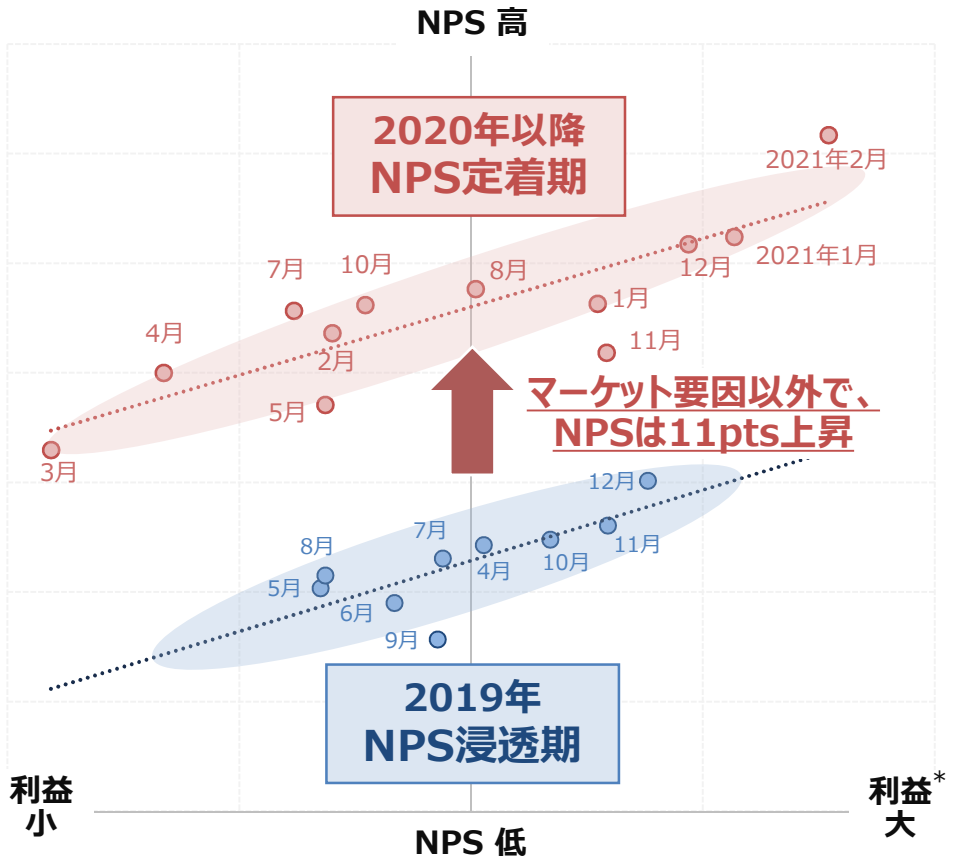
Q

ご家族やご友人から、
「どの証券会社に口座を開設したら良いか」を
相談された場合、大和証券をご家族やご友人に
薦める可能性はどのくらいありますか？



推奨者の割合（%） − 批判者の割合（%） ＝ NPS

NPSは上昇



※　NPSオペレーションはお客様の声を起点とした営業品質や商品・サービスの改善、そのPDCAサイクルを回す仕組み
*　2018年11月以降のお客様の損益累積

お客様との接点拡大に向けた店舗戦略

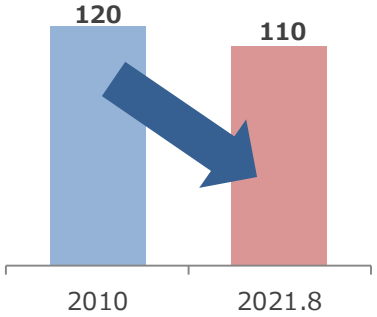
既存・大型店舗の統廃合による効率化に加え、営業所数を拡大することで、お客様接点の拡大を推進

店舗戦略

支店



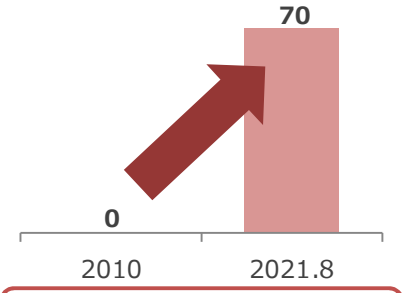
統合・効率化



営業所*



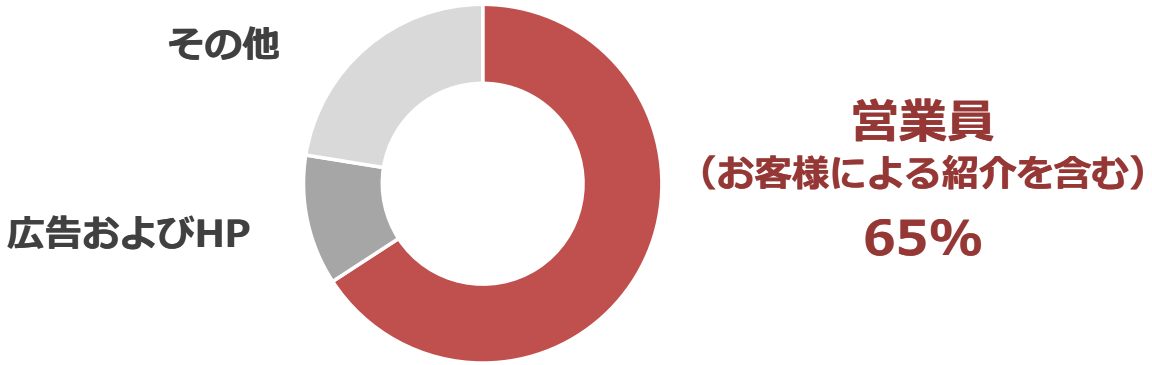
拡大



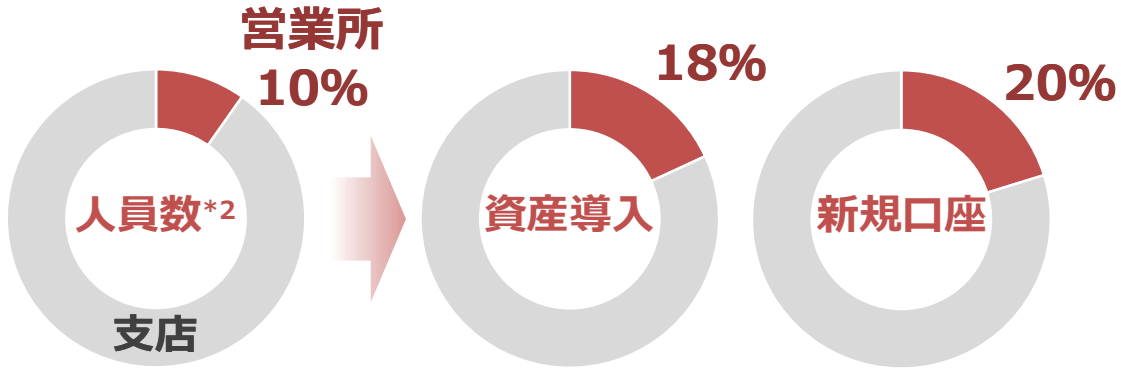
店舗戦略として2012年6月から営業所を出店

＊ 事務機能を持たない、小規模な営業拠点

コンサルティングコースの口座開設動機*1



営業所によるお客様接点の拡大



*1　総合取引口座申込書のアンケート結果を基に作成、2020年度第4四半期累計実績
*2　2021年6月末時点

投資信託の新たな手数料プラン導入

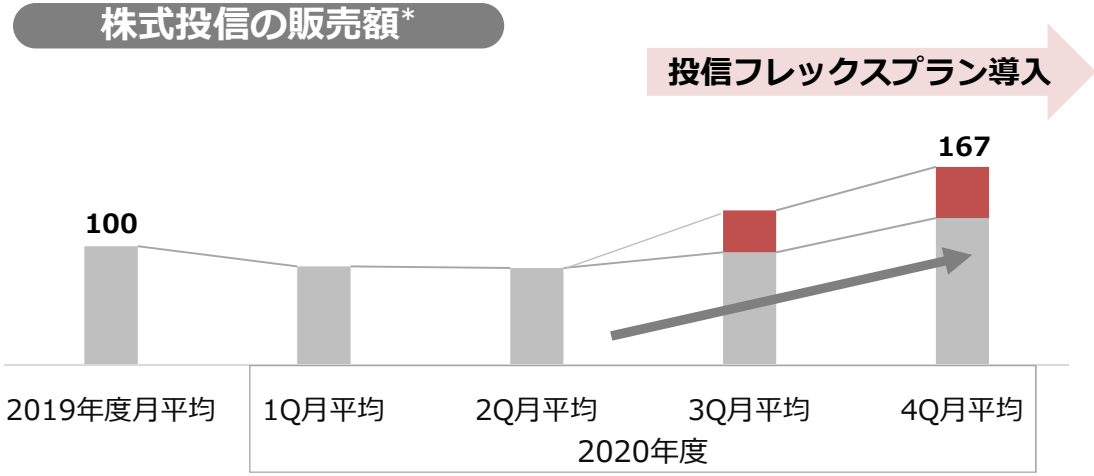
投資信託の新たな手数料プランとして、2020年10月より「投信残高フィー」（愛称：投信フレックスプラン）の取扱いを開始

手数料プラン



- 従来型：購入時手数料
- 投信フレックスプラン

- 銘柄ごとに**1注文当たり1,000万円以上**
- 購入時手数料は無料
- **残高フィーを後払い**（最大年率0.99%・税込、残高に応じて逓減）



マーケットを捉える

購入時手数料を気にすることなく
マーケット状況に応じて
投資信託を購入可能

投資戦略の幅が広がる

長期保有だけでなく
1年未満の売却や入れ替えも
視野に入れた運用が可能

リスクに素早く対応

好きなタイミングで気兼ねなく
売却や入れ替えができ
リスクに素早く対応可能

* 2019年度月平均を100として指数化

資産形成層に向けた取組み（CONNECT）

投資初心者・資産形成層向けに新しい金融サービスを拡大

全てスマホ完結



手数料が魅力

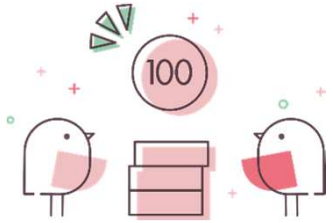
■**業界最低水準**の手数料

■**手数料無料クーポン**を毎月配布
毎月10回・年間最大120回まで
売買手数料が無料に

少額から投資可能

■値がさ株も**1株**から分散投資できる「ひな株」

■**100円**から毎日積立できる「まいにち投信」



商品ラインアップも充実

■**NISA・つみたてNISAにも対応**

■信用取引、IPO、積立投信等も拡充

つみたてNISA　IPO

ポイント運用が可能

永久不滅ポイント　Ponta　等各種ポイントサービス

↓ ポイント交換

ポイントを疑似運用（株価連動）

STOCK POINT

↓ 株式に交換

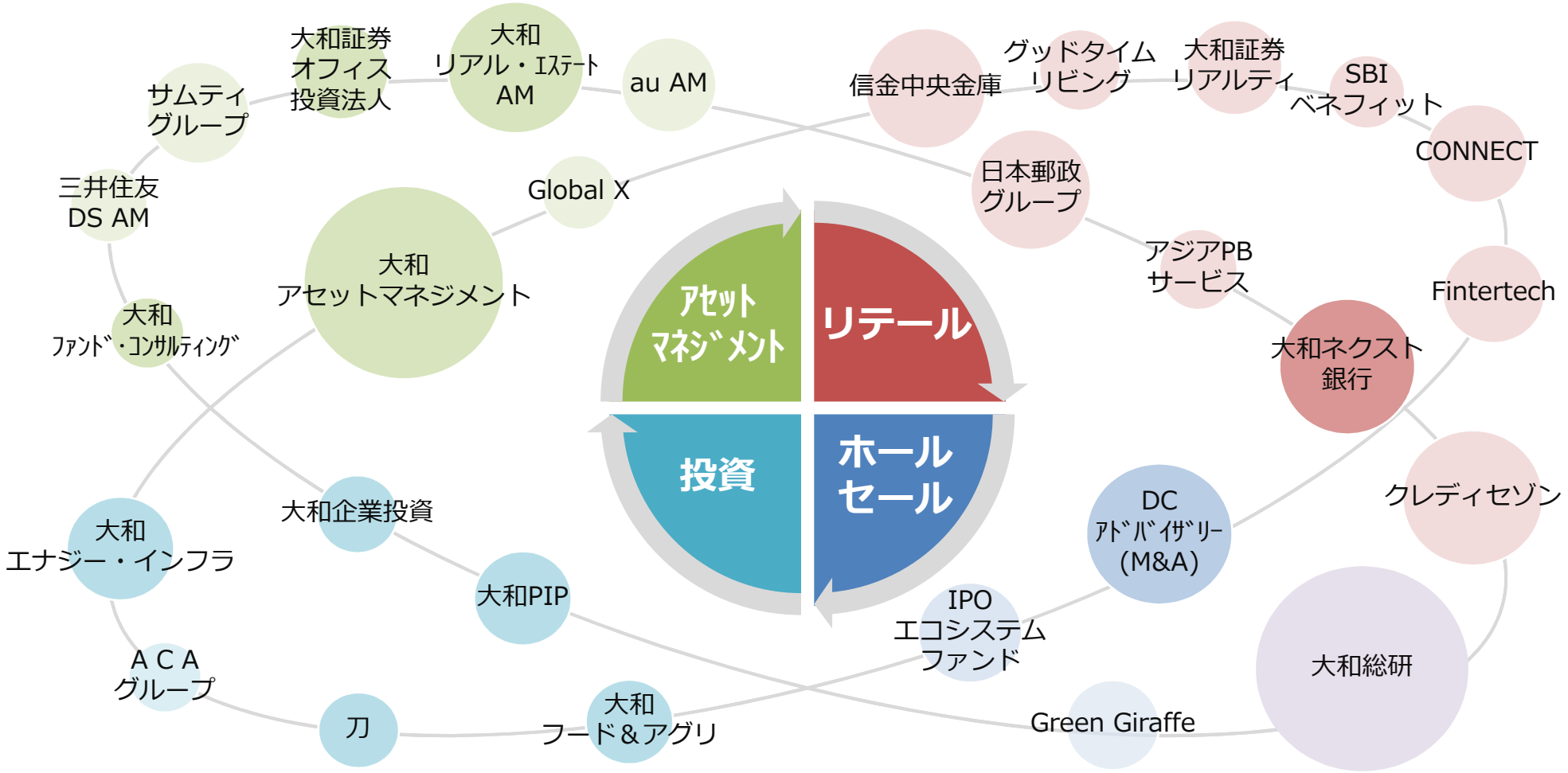
CONNECT

3. 個別戦略
②ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立

Daiwa Securities Group Inc.

ハイブリッド型総合証券グループ

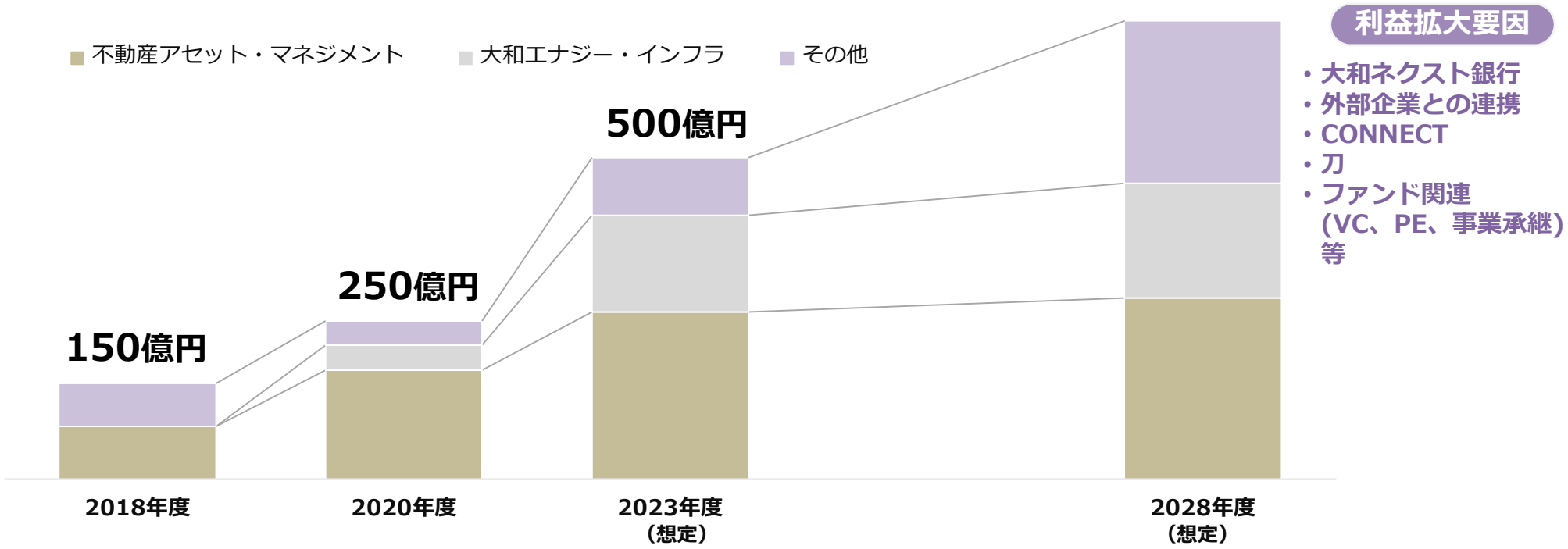
伝統的証券ビジネスをコアとした事業ポートフォリオ拡大による収益性の向上と安定化を図る



ハイブリッド戦略

不動産アセット・マネジメント、大和エナジー・インフラを中心に収益を拡大
2023年度に、ハイブリッド関連経常利益500億円以上を目指す

ハイブリッド経常利益内訳



ハイブリッド比率（ハイブリッド経常利益/連結経常利益）

18%	21%	25%

＊　大和証券オフィス投資法人の連結子会社化による影響含む
＊　ハイブリッド事業の利益見通しはそれぞれの利益想定のベースシナリオに基づく

不動産AM関連ビジネスにおける運用資産の多様化・拡大

PASSION FOR THE BEST

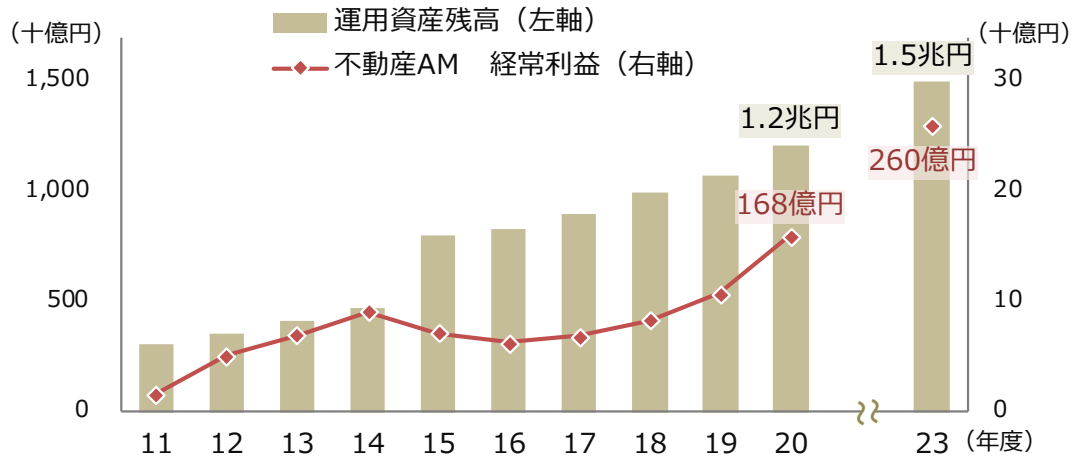
安定的な収益拡大に向けた運用資産の多様化・拡大を継続
着実な運用と成長に向けた取組みにより運用資産残高拡大を目指す

不動産アセット・マネジメント運用対象資産

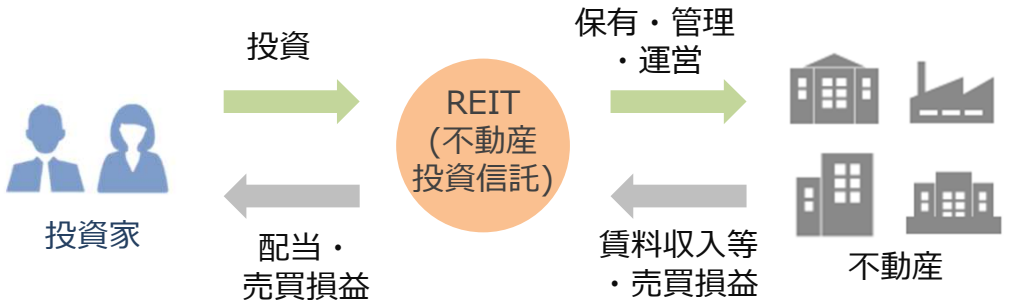
運用対象資産の拡大

2009年	オフィス	
2013年	住宅	
2014年	ヘルスケア施設	
2018年	ホテル	
2020年	物流施設	

運用資産残高・経常利益推移



REIT（リート）の仕組み



再生可能エネルギー分野における取組み（大和エナジー・インフラ）

PASSION FOR THE BEST

太陽光発電など、クリーンな電源の供給を通じて社会課題の解決を目指す

エネルギー・インフラ分野を取り巻く環境

- 再生可能エネルギーの普及
- 老朽化に伴う更新需要
- 公的財源の不足
- 海外における旺盛なエネルギー・インフラ需要

2018年設立

大和エナジー・インフラ
Daiwa Energy & Infrastructure

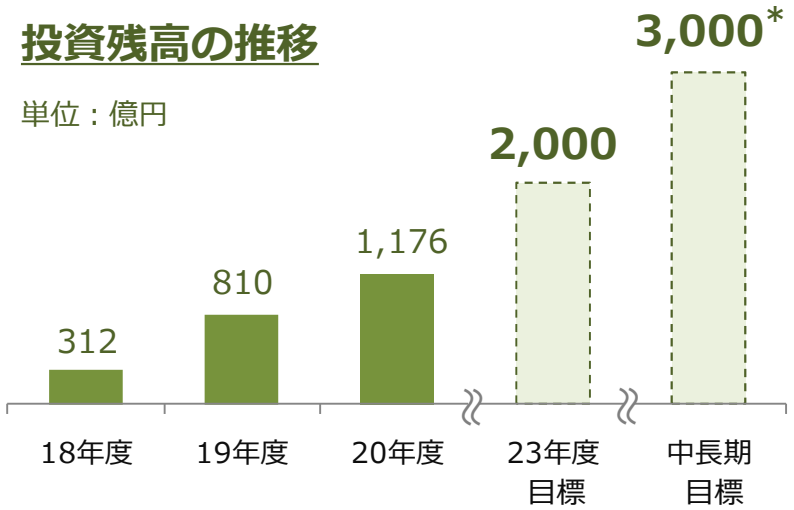
投資・開発

- 再生可能エネルギー関連投資
- インフラ関連投資

対象地域

日本　海外

投資残高の推移





太陽光発電所
（栃木県日光市）



バイオマス発電所
（山形県米沢市）

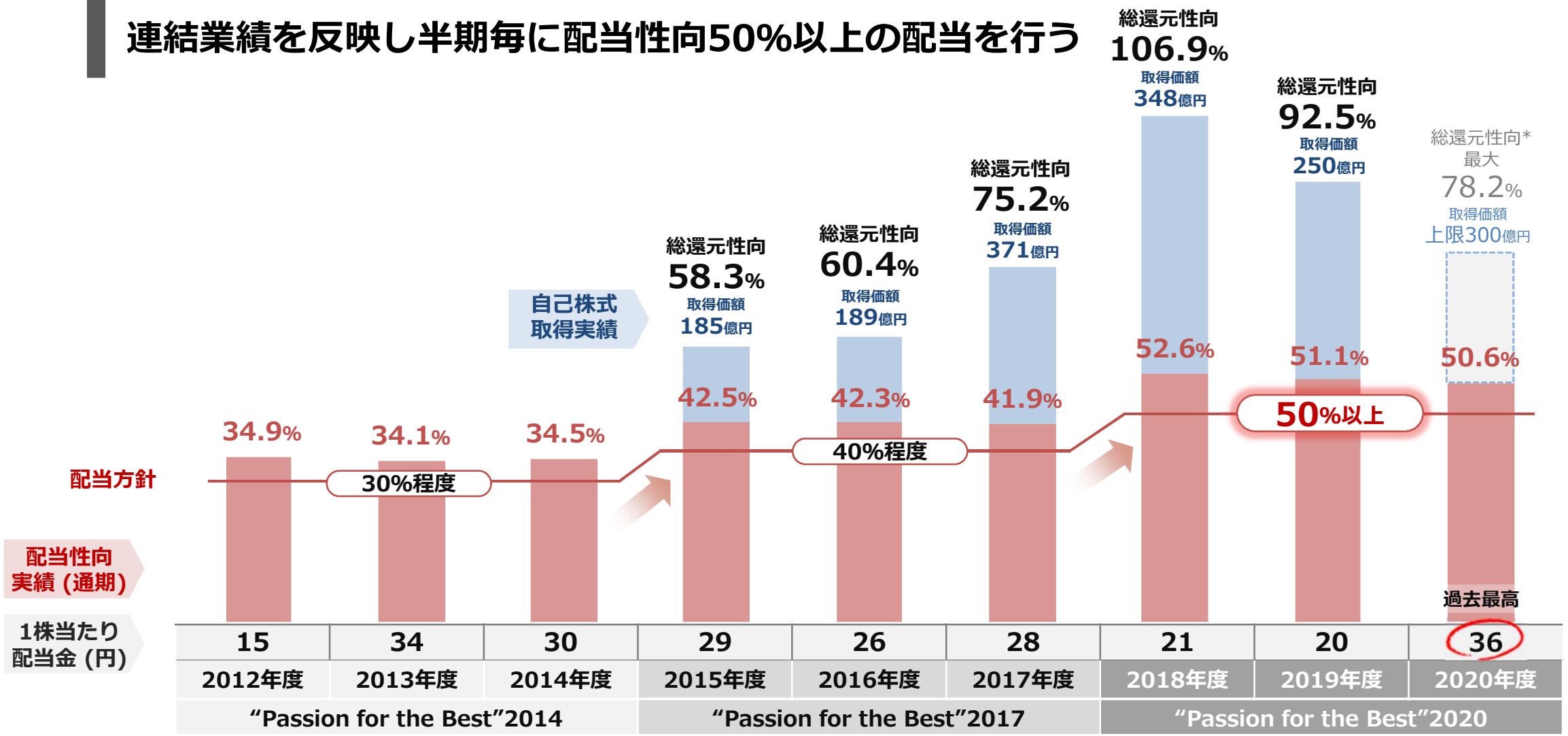
*　外部資金含む

4. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

株主還元の方針

連結業績を反映し半期毎に配当性向50%以上の配当を行う



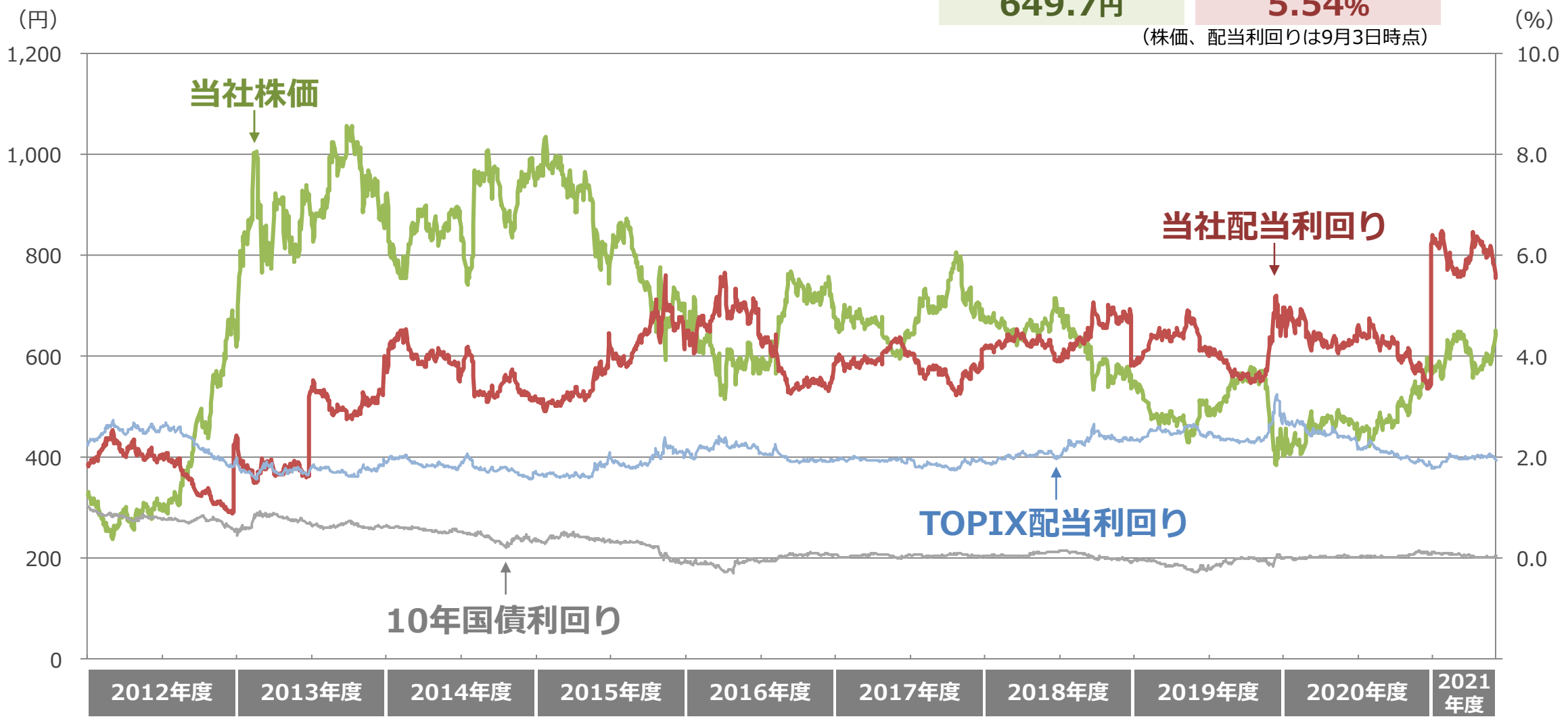
* 2021年4月28日に、取得株式総数4,500万株（上限）、取得価額総額300億円（上限）とする自己株式取得を決議。
総還元性向は、取得価額300億円分を取得した場合の最大値であり、自己株式取得期間中の取得価額総額によりこれを下回る場合がある

配当利回り

PASSION FOR THE BEST

当社株価	配当利回り
649.7円	5.54%

（株価、配当利回りは9月3日時点）



（出所）　Bloomberg　TOPIX配当利回り、当社配当利回りは年間の配当実績に基づき計算

株主優待制度

PASSION FOR THE BEST

株主優待品カタログから、お好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ（30品掲載）
1,000～2,999株	1点	2,000円相当
3,000～4,999株	2点	4,000円相当
5,000～9,999株	1点	5,000円相当
10,000株以上	2点	10,000円相当

株主優待品カタログ　掲載例













※　株主優待品は毎回変わります。また、株主優待制度の内容は毎回変わる可能性がございます

株主優待制度の拡充

PASSION FOR THE BEST

グループ会社が保有・運営するさまざまな施設でも株主優待をご利用いただけます

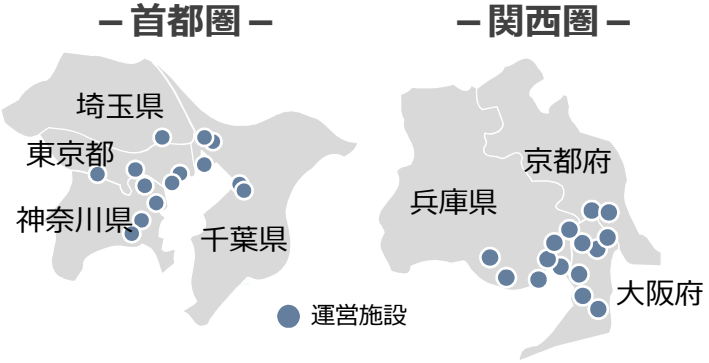
高齢者住宅の入居時費用割引　グッドタイム リビング 大和証券グループ

ご優待内容

- 入居時費用から、30万円もしくは50万円を割引*







首都圏・関西圏　33施設

ホテル・ゴルフ場の割引/優待　大和リアル・エステート・アセット・マネジメント Daiwa Real Estate Asset Management　大和PIパートナーズ Daiwa PI Partners

ご優待内容

- ご宿泊料割引
- レストランご利用割引
- ワインフルボトルをサービス

など





全国 19ホテル・2ゴルフ場

*　有料老人ホーム 『グッドタイム リビング』は30万円、シニア向けマンション 『プラテシア』は50万円を割引。株主様の三親等までご利用可能

今後のIRスケジュール

時期（予定）	スケジュール概要
9月28日	権利付き最終日
10月下旬	決算発表（2021年度第2四半期）
12月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「株主優待品カタログ」発送
2022年1月下旬	決算発表（2021年度第3四半期）
1月下旬	株主優待品申込締切
3月29日	権利付き最終日
4月下旬	決算発表（2021年度第4四半期）
6月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「定時株主総会招集ご通知」（「議決権行使書」同封）発送 「株主優待品カタログ」発送
6月下旬	第85回定時株主総会

株主・投資家の皆さまへの情報発信

IRウェブサイト

【URL】 https://www.daiwa-grp.jp/



ダイワインターネットTV

【URL】 https://www.daiwatv.jp/





刊行物



統合報告書
2021年9月下旬発行予定

【URL】
https://www.daiwa-rp.jp/ir/toolkit/annualreport/

参考資料

Daiwa Securities Group Inc.

新中期経営計画の位置づけ

2030年に目指す姿として、経営ビジョン「2030Vision」を策定
その達成に向けた当初3年間の戦略が、新中期経営計画“Passion for the Best” 2023



ミッション　金融・資本市場を通じて社会及び経済の発展に資する

企業理念	信頼の構築	人材の重視	社会への貢献	健全な利益の確保

ありたい姿/目指す姿　**貯蓄からSDGsへ**
～資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現～



人生100年時代　イノベーション　グリーン＆ソーシャル　ダイバーシティ＆インクルージョン　サステナブル経営の基盤

あるべき姿　**全てのステークホルダーの価値・効用の最大化**

基本方針



クライアントファーストとクオリティNo.1の実現

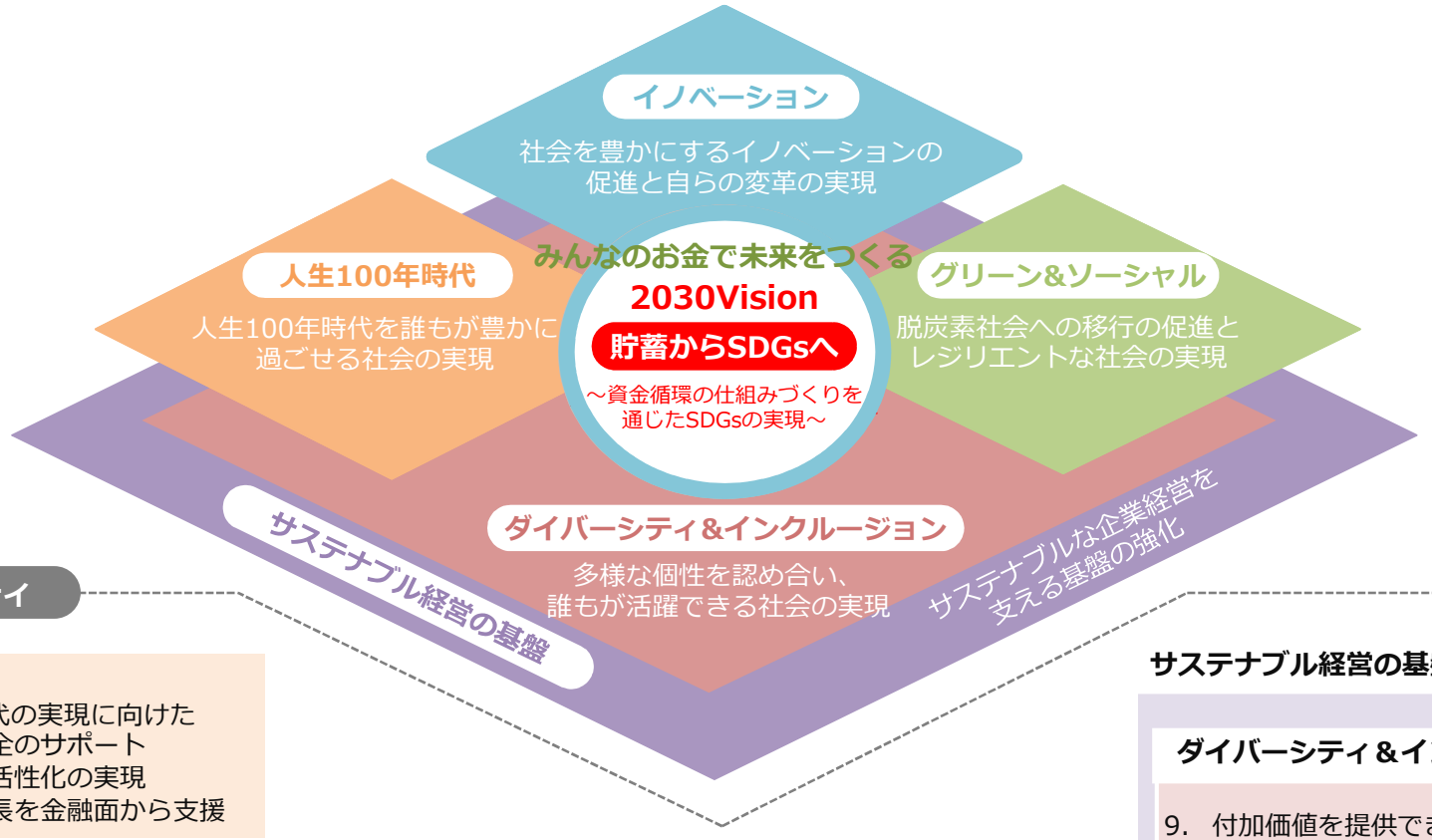


ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立



デジタルとリアルのベストミックスの追求

2030Vision　～ 貯蓄からSDGsへ ～



マテリアリティ

人生100年時代

1. 豊かな人生100年時代の実現に向けた家計の資産形成・保全のサポート
2. 民間資金による地方活性化の実現
3. アジア地域の経済成長を金融面から支援

イノベーション

4. 社会を豊かにするイノベーションの実現に向けた企業の新陳代謝の加速支援
5. 新たな付加価値創出に向けた事業ポートフォリオの変革
6. 唯一無二の金融プラットフォーマーとして社会の変革をリード

グリーン&ソーシャル

7. 脱炭素社会の実現を支援するグリーンファイナンス/トランジションファイナンスの促進
8. 持続可能な社会の実現に資する新たな金融商品・サービスの開発・提供

サステナブル経営の基盤

ダイバーシティ&インクルージョン

9. 付加価値を提供できる人材の育成
10. 多様な個性を認め合い、誰もが活躍できる組織の構築

11. 健全で透明性の高い経営基盤の強化
12. 金融・資本市場の維持発展をリード
13. 次世代につなぐ美しい地球環境の創造
14. より良い未来のコミュニティ・社会の実現

外部評価

PASSION FOR THE BEST

外部評価

NADESHIKO BRAND 2021
7年連続で選定

2021 健康経営銘柄
7年連続で選定 / 5年連続で選定

2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

GRESB 2020
9年連続で獲得
（大和証券オフィス投資法人）

GRESB 2020
3年連続で獲得
（大和証券リビング投資法人）

指数への組入れ等

GPIF選定ESGインデックス

FTSE Blossom Japan
5期連続採用

2021 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)
5期連続採用

MSCI ESG RATINGS A
CCC B BB BBB A AA AAA
A格を取得

FTSE4Good
16期連続採用

Member of Dow Jones Sustainability Indices Powered by the S&P Global CSA
1999年より連続採用

アナリストランキング（大和証券）

日経ヴェリタス（株式部門）2021年アナリストランキング
3年連続1位

2021 Institutional Investor All-Japan Research Team
2年連続1位

SDGs企業ランキング500*1

総合順位：3位

ＩＲ企業ランキング

Institutional Investor 2021 JAPAN EXECUTIVE TEAM MOST HONORED COMPANY DAIWA SECURITIES GROUP INC.

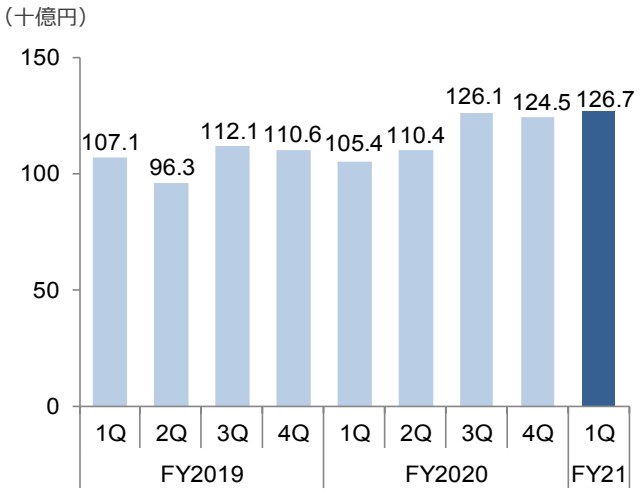
保険・その他ノンバンク金融セクター
全6分野全てで1位*2

*1　東洋経済新報社
*2　ベストCEO、ベストCFO、ベストIRプロフェッショナル、ベストIRプログラム、ベストIRチーム、ベストESG

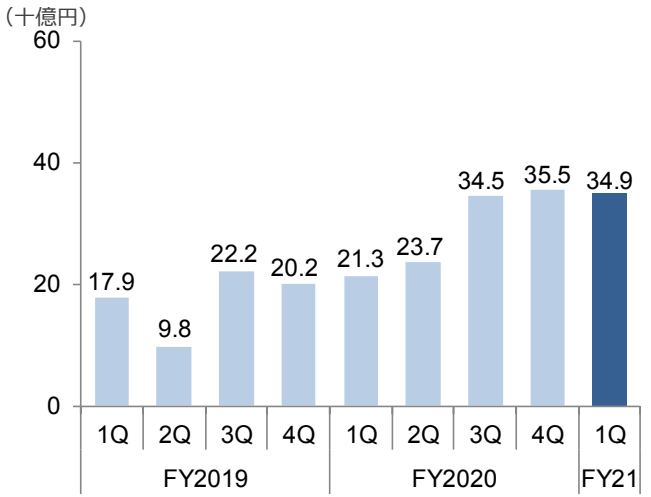
2021年度第1四半期決算概要

グループ連結業績	2020年度 累計	2021年度 第1四半期	前年同期比	前四半期比
純営業収益	4,666億円	1,267億円	+20.2 %	+1.7 %
経常利益	1,151億円	349億円	+63.4 %	-1.7 %
親会社株主に帰属する純利益	1,083億円	235億円	+34.2 %	-53.4 %

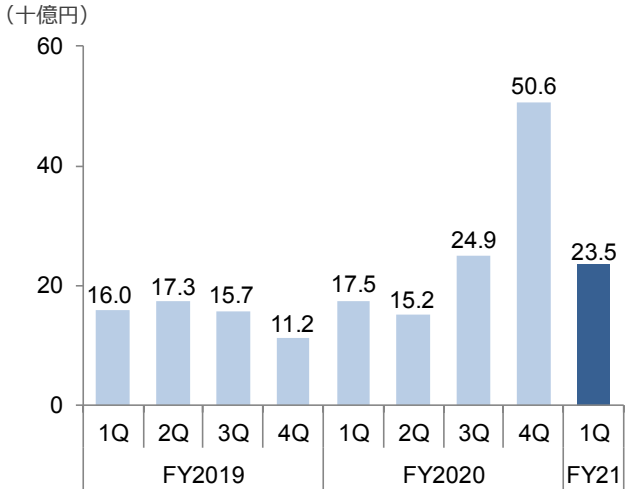
純営業収益



経常利益



親会社株主に帰属する純利益



用語集

あ－を	
権利付き最終日	■ 「権利付き最終売買日」の略称で、権利確定日の2営業日前のこと ■ 権利確定日の株主名簿に載るには、受渡日を考えると2日前までにその株式を購入しておく必要（3日目決済）があり、そのための最終売買日
自己株式取得	■ 自社の株式を市場から買い戻すこと。1株あたりの利益を高める効果があるため、株主への利益還元、また敵対的買収の防衛策などのために実施
総還元性向	■ 企業が株主に対して還元する利益の割合 ■ 総還元性向は配当額に自社株買いを加えた金額と純利益の比率。「総還元性向＝（配当支払総額＋自社株買い総額）÷純利益×100」
デジタル・トランスフォーメーション	■ 企業を取り巻く市場環境のデジタル化に対応するため、あらゆる経済活動やそれを構成するビジネスモデル、ならびに組織・文化・制度といった企業そのものを変革していく一連の取組み
統合報告書	■ 「アニュアルリポート（annual report）」の日本語名称で、年次事業報告書のこと。上場企業が決算などの財務内容に加え、経営戦略や企業統治などを盛り込んで事業年度終了後に作成する報告書
配当性向	■ 企業が当期純利益に対してどの程度の配当を支払っているかを示す指標 ■ 配当性向(%)＝1株あたり年間配当総額÷1株あたり当期純利益×100
配当利回り	■ 株価に対する「配当金額の割合」を示す指標 ■ 配当利回り(%)＝1株あたり年間配当金÷株価×100

A－Z	
ESG	■ 「Environmental（環境）」「Social（社会）」「Governance（企業統治）」のことで、それぞれの言葉の頭文字から「ESG」と呼ばれている。環境問題や労働条件改善に前向きな企業が評価され、こうした企業が業容を拡大することで、社会全体の持続可能性（サステイナビリティ）が高まることが期待される
REIT	■ 英語表記「Real Estate Investment Trust」の略で、不動産を運用対象とした「不動産投資信託」のこと ■ 投資家から集めた資金をオフィスビルや証券化商品などに投資し、得られた収益を投資家に分配
SDGs	■ 英語表記「Sustainable Development Goals」の略で、SDCs（エス・ディー・ジーズ）と読む。2015年に国連が採択した「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲット
TOPIX	■ 英語表記「Tokyo Stock Price Index」の略で、「東証株価指数」のこと ■ 東京証券取引所の市場第1部に上場しているすべての日本企業を対象とした浮動株を反映した時価総額加重平均型の株価指数

※　大和証券 用語集より

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社　経営企画部IR室
E-mail: ir-section@daiwa.co.jp
URL: https://www.daiwa-grp.jp/ir/